

校長あいさつ

鏡が丘特別支援学校浦添分校へアクセスいただきありがとうございます。

本校は、昭和 56 年に沖縄療育園に隣接して設立された本県で初めての分校です。沖縄療育園に入所する子供たちの教育を保障しようとする先達の深い思いが募っての設立でした。開校当初より、重度重複児教育への取り組みは、一人一人をととても大事にする教育が行われています。

創立の思いは「あるがままを受け入れ、成長を促す特別支援学校」として掲げています。その思いは、昭和 55 年 12 月に隣接する沖縄療育園で教育講演をなさった「しいいのみ学園園長の昇地三郎先生が詠まれたお言葉「小さきは小さきままに、折れたるは折れたるままに、コスモスの花咲く」に感銘を受けた初代教頭（伊波園子）先生が、開校の年（昭和 56 年）に国際障害者年の記念事業と分校設立を記念し、校門前の玄関脇に建立した石碑に刻まれています。どんなに障害は重くともあるがままを受け入れ、そのもてる能力の可能性を信じ、一人一人の児童生徒にふさわしい個々の花を咲かせようと向き合い、寄り添う教育を行っています。そして、職員一人一人の力は小さくとも全職員の力を合わせると、大きな力になると信じ、子供たちの日々の学びを大切にしています。

浦添分校は、今年で 44 年目となります。振り返れば、平成 9 年には鏡が丘特別支援学校高等部分教室が開級となり、その 18 年後の平成 27 年 4 月に分教室としては廃止されましたが、同時に分校に高等部を設置し 11 年目を迎えています。今年度は、在籍 5 名のとても小さな学校ですが、ゆったりと落ち着いた学習環境の中で、沖縄療育園と連携しながら、豊かな教育を展開しています。

どうぞこのホームページを通して、本校の児童生徒の学校生活をご覧になり、応援していただければと思います。

令和 7 年 4 月

沖縄県立鏡が丘特別支援学校浦添分校

校 長 津波 佳和